

武雄市民体育館整備概要



1. 名 称 武雄市民体育館
2. 位 置 武雄市武雄町大字武雄 4866 番地
3. 武雄市民体育館整備の経緯

昭和 50 年に竣工した白岩体育館は、市の中心的な屋外スポーツ拠点の機能を担うとともに、生きがいやコミュニティづくりなどに、また防災面においては自衛隊等の災害派遣活動拠点や支援物資集積所の機能を有する施設として重要な役割を果たしています。

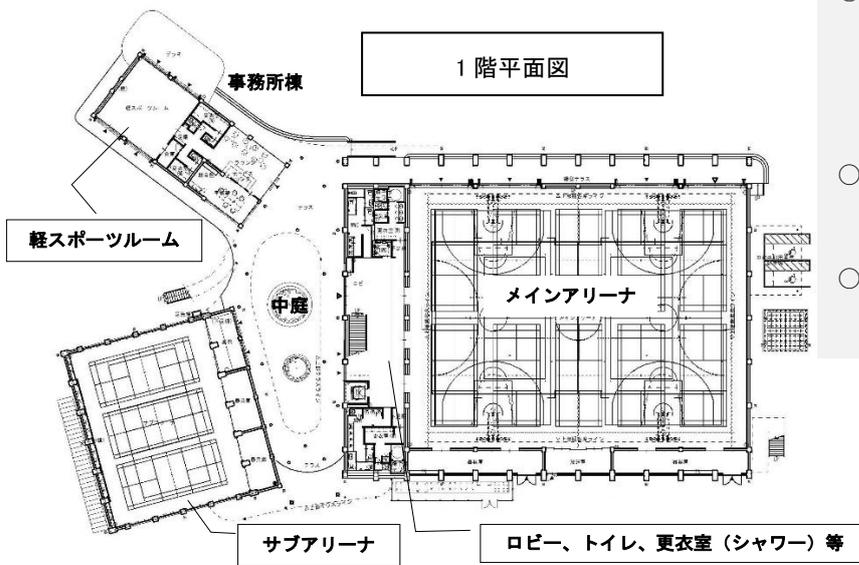
近年は、時代の移り変わりとともに健康志向の高まりも相まって、スポーツに対するニーズは多様化・高度化しており、白岩体育館についても量的・質的な充実が求められています。一方では、建設から 40 年以上が経過し、施設や設備の老朽化が著しく耐震補強が出来ていない現状や、熱中症対策ともなる空調整備等の要望など、改善すべき課題が多くあります。

これらを踏まえ、武雄市公共施設等個別計画（スポーツ編）に基づき、新しい体育館を白岩運動公園内に建設することとなりました。

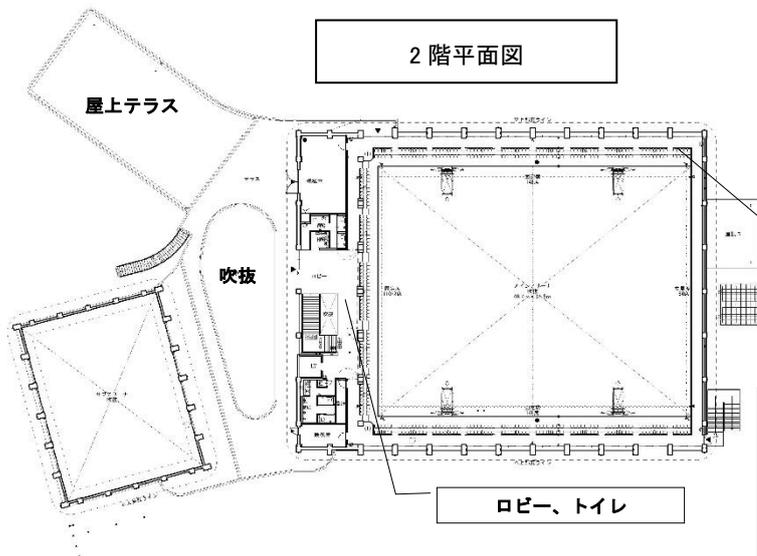
武雄市民体育館の整備にあたっては、現在のスポーツ需要を満たしつつも、将来の人口減少や少子高齢化社会を見据え、今後も担っていく機能を集約し、「スポーツから新たなシーンがはじまる体育館」をコンセプトとして、市民だれもが気軽に集い、楽しむことのできる空間づくりを進めます。

また、災害発生時には白岩運動公園が防災公園としての機能を発揮できるように、武雄市民体育館においても整備を行います。

4. 武雄市民体育館の概要および特徴



- 機能が增える
スポーツの競技が充実
安全性を考慮した床材の採用
空調設備を完備
ユニバーサルデザイン化
太陽光発電設備を設置
- 分棟方式を採用
外部との一体的な利用ができ、自然喚気によるコロナ対策に有効
- 防災公園の中心的な施設
自家発電設備を整備
浸水を考慮した敷地の高上げ



- 延床面積 合計 3814.49 m²
 - ・メインアリーナ棟 3007.36 m²
 - 1階 2216.57 m² 2階 790.79 m²
 - ・サブアリーナ棟 559.63 m²
 - ・事務所棟 247.50 m²

メインアリーナ 2階		
観覧席	固定席	406
	車いす席	2
	立見席	84
	計	492

- 競技フロアの広さ等
 - ・メインアリーナ 約 44.5m×34.5m
高さ 12.5m 以上
 - ・サブアリーナ 約 24m×19m
高さ 12.5m 以上
 - ・軽スポーツルーム 約 10m×10m

5. 事業スケジュール

- 令和元年 5月 武雄市白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査実施
- 令和2年 2月 武雄市白岩運動公園・新体育館整備基本計画策定
- 令和3年 1月 武雄市白岩運動公園及び新体育館建設に係る基本設計業務完了
- 令和3年 8月 武雄市白岩運動公園及び新体育館建設に係る実施設計業務完了
- 令和3年12月 武雄市新体育館建設（建築・電気・機械）工事請負契約締結

今後、外構工事について発注を行い、令和4年度中に工事を完了し、令和5年度供用開始を予定しています。

6. 施設使用料等

使用期間 1月4日から12月28日まで

使用時間 午前9時から午後10時まで

使用料

(1) 個人使用料

区分	2時間当たり
市民	100円
市民以外の者	200円

(2) 占用使用料

区分	1時間当たり	
メインアリーナ	市民	2200円
	市民以外の者	4400円
サブアリーナ	市民	790円
	市民以外の者	1580円
軽スポーツルーム	市民	310円
	市民以外の者	620円

(3) 付属設備使用料

区分	1時間当たり	
音響設備	市民	230円
	市民以外の者	460円

(4) 空調使用料

区分	1時間当たり	
メインアリーナ (1F)	市民	1940円
	市民以外の者	3880円
メインアリーナ (2F)	市民	550円
	市民以外の者	1110円
サブアリーナ	市民	690円
	市民以外の者	1390円
軽スポーツルーム	市民	270円
	市民以外の者	550円

※入場料を徴収する場合は、上記占用使用料の5割増しの額を徴収する。

※営利を目的する場合は、上記占用使用料の4倍の額を徴収する。